

LIBERAL&DEMOCRATIC

自由民主

発行所
自由民主党本部
郵便番号 100-8910
東京都千代田区永田町1-11-23
電話 東京 03(3581)6211(代表)
<毎週火曜日発行>



自由民主党ホームページ URL <http://www.jlmin.jp/>

奄振法、令和10年度末まで延長決定

令和6年の奄美群島振興開発特別措置法期限切れに伴う延長法案が今通常国会で審議され、全会一致で可決成立しました。

今回の法改正では主に、

奄振特措法は、奄美地方の地理的、自然的特性等の特殊事情に鑑み自立的で持続可能な発展に向けて地域の特性に応じた産業の振興による雇用の拡大と定住の促進を図ることを目的とした法律で、奄美の住民にとって重要な制度が多く盛り込まれています。今回の特措法改正では法律の有効期限を令和10年度末まで延長したほか、新たな連携や

課題への対応などが追加強化されました。

今回の奄振法改正について自民党・保岡宏武衆議院議員は「責任与党の地元国会議員として人一倍、奄美のことに取り組んできた結果が実って嬉しい」と感情をあらわにコメント。さらに「特に老朽化しているフェリーの更新など、島民生活に密接な課題を与野党の国会議員に理解いただくのは大変だったが、奄美に足を運んでもらったりもし、働きかけの重要性を改めて認識した」と本改正に

かかるとも苦勞もにじませた。沖縄との人流・物流の活性化については、「これまで鹿児島市内など本土向けの物流にのみ支援があった形だが、奄美大島の水産物の移出先が沖縄県が多い実状を訴え今回の法改正につながった。沖縄への物流は、那覇港や那覇空港などを通じてアジアと繋がること。今回の施策を通じて物流の動きが変わり、最終的には東アジアや東南アジアのマーケットに奄美の水産物が並ぶようになれば、漁業者や海業関係者の所得向上に確実につながる」と期待を寄せた。

今後については、「改正奄振法をもとに様々な施策推進を担当省庁にも呼びかけ、法の活用を促すとともに各種整備の進捗もしっかり見ていきたい」とも語ったほか、「私には、自民党の選挙区支部長としての立場もある。自民党本部での議論に奄美を代表する唯一の衆議院議員として、島民の声をしっかりと届けることができた結果だ。党内での議論も若手が増え活発化しているなか、自民党の一員として、当選年次に関係なく話す党内議論の重要性を強く感じた。今後も自民党の地元衆議院議員として役割を果たし続け、奄美に貢献していきたい」と力強く決意を述べた。



△国会で質問に立つ保岡宏武衆議院議員

奄美・小笠原特措法改正案のポイント

- 【1】法期限の延長
 - ◆法律の有効期限を令和10年度末まで延長(奄美法・小笠原法)
- 【2】地方への人の流れの創出
 - ◆目的規定に「移住の促進」を追加、「移住の促進」に関する配慮規定を新設(奄美法・小笠原法)
- 【3】沖縄との連携強化
 - ◆基本理念に「沖縄との連携」を追加(奄美法)
- 【4】新たな課題への対応
 - ◆配慮規定に「遠隔教育」、「先端的な情報通信教育の活用」を追加(奄美法・小笠原法)
 - ◆奄美群島振興開発基金の業務について、現行の債務保証・融資業務に加え、事業者への「コンサルティング業務」を追加(奄美法)

△奄振特措法改正のポイント(自民党ホームページより引用)

令和6年度奄美群島振興交付金の内容(改正奄振法の拡充点)

物資の輸送費支援

- 販路・生産拡大等のための戦略産品(畜産品を含む)の本土・沖縄向けの移出に係る輸送費への支援

航路・航空路運賃の低減

- 奄美群島の住民などを対象とした県内路線の運賃割引及び住民を対象とした沖縄路線の運賃割引への支援
- 旅行者を対象とした群島間路線の運賃割引への支援

奄美周遊・沖縄連携観光の推進

- 群島全体への誘客・周遊を促進する事業を支援
- 沖縄と奄美で連携して行うプロモーションや旅行者等を対象とした沖縄路線の運賃割引を支援

航路・航空路運賃の低減

- 台風対策に資する平張ハウスの整備等・農業機械の導入
六次産業化・ブランド化や堆肥舎・貯蔵設備等の整備
- 水産資源の増養殖や低未利用資源の活用等への支援

成長戦略の実現に向けた支援

- 雇用拡充、人材育成又は交流人口の拡大を図るために必要な事業を支援
 - ・ 関係人口の拡大及び移住の促進
 - ・ 教育及び文化の振興
 - ・ 製造業の振興
 - ・ 自然環境の保全及び再生
 - ・ 防災対策の推進等
- 上記事業のうち民間事業者等と連携した取組(事業開始から3年以内)であって、
 - ①雇用創出効果又は観光消費の促進が見込まれる創業又は事業拡大に対する支援事業
 - ②奄美群島固有の地域資源又はデジタル技術等を活用した先駆的、先進的な取組に係る実証事業
 については、交付率をかさ上げして強力に支援(特定重点配分対象事業)

※赤字：主な拡充内容

出典：国交省

「みんなの笑顔、明るい未来へ。やり抜きます。やすおか宏武です。」

衆議院議員やすおか宏武事務所

奄美事務所
〒894-0027
奄美市名瀬末広町2-6-1F 荒垣ビル
TEL 0997-57-1178
FAX 0997-57-1179

国会事務所
〒100-8981
東京都千代田区永田町2-2-1衆議院第一議員会館815号室
TEL 03-3508-7633
FAX 03-3508-3263

衆議院議員保岡宏武プロフィール 1973年5月6日生まれ、家族は妻と男の子4人。奄美小、池田中、錦江湾高、青山学院大法学部卒業、鹿児島大大学院修了(焼酎学修士)。2021年衆議院総選挙初当選、現在自民党鹿児島2区支部長。奄美振興特別委員会幹事。



奄美の力。

写真で見る保岡宏武衆議院議員の活動

保岡宏武衆議院議員は、自由民主党鹿児島県第2選挙区支部長として党勢拡大活動をしています。鹿児島2区は、鹿児島市(谷山・喜入の各支所管内)、指宿市、南九州市、枕崎市、南さつま市、奄美市、大島郡によって構成されています。保岡宏武衆議院議員の地元奄美での活動を、写真でお伝えします。



△「自民党ふるさと対話集会in奄美」
(右：遠藤利明元党事務会長)



△恒例の名瀬永田橋交差点で辻立ち



△自民党奄美振興特別委員会



△「やすおか宏武奄美事務所開設
(名瀬郵便局近く)



△奄美群島市町村議会議員大会
(大和村にて開催)



△与論島の皆様と



△瀬戸内町久慈の被災地へ



△宇検村国政報告会(祖父・武久、父・興治の出身地)



△龍郷町国政報告会での一コマ



△喜界島の議員の皆様と



△徳之島の皆様と



△母の故郷・沖永良部島の皆様と



△奄美市・和瀬バイパスを視察



△今年の通常国会召集日も大島袖を着用



△国土交通委員会の奄振法審議で質問に立つ



△奄美パーク開園20周年記念式典にて